

第 27 回 愛知県中学校力又一大会

監督会議資料 審判・役員打ち合わせ資料

日 時 令和2年7月19日(日) 8:15~

会 場 巴川力又一競技場

愛知県力又一協会



1 競技運営上の注意

① プログラム訂正・選手変更・棄権について

- ア 選手変更・棄権は午前・午後の部の第 1 レース開始 1 時間前までに競技本部に申し出る。(第 13 条第 1 項・2 項)
変更・棄権は最終的なものとみなされ、再参加は認められない。
午前の部の選手変更・棄権は監督会議にて確認を行う。(午後の変更も受け付ける。)

② 競技運営方法

- ア 公益社団法人日本カヌー連盟 2020 年度カヌースプリント競技規則、ただし、勝ち上がり方式は特別規則(※勝ち上がりは着順ではなくタイム順)により行う。K-1・C-1 は A・B 決勝、WK-1 は A・B・C 決勝を行う。
また、予選における転覆、レーンアウトは予選以降に進出できない。
- イ 艇番位置は後甲板の中央線上に付けること。
艇番が落水する可能性があるので艇番立にガムテープで固定することが望ましい。
なお、後甲板に艇番立が無い場合は配艇所にて貸し出す。
艇番立、ガムテープを借りる場合は必ず配艇所係員に申し出ること。
ガムテープは必要最低限の長さを配艇所で切り取り持ち出すこと。
艇番を紛失、破損した場合はチームに賠償を求める場合がある。
- ウ 同一艇の乗り継ぎはできるだけ早く配艇所係員まで申し出ること。
レース時間に支障がないように速やかに乗り継ぎができるように準備すること。
今大会は、大会の円滑な運営の都合上、乗り継ぎ前の艇の検艇は行わない。ただし、乗り継ぎ後の艇が検艇で失格となった場合は乗り継ぎ前の種目も失格とする。

③ 競技会場

- ア 名称 岡崎市 巴川カヌー競技場
イ コース 200m 4 レーン スタートから見てコース左側から 1 レーンとする。

④ 諸注意

- ア 配艇
- ・当該レースの 30 分前から配艇を行う。
 - ・配艇には選手が、ゼッケン付きのライフジャケットを着用し出向き、レース番号、レーン番号、氏名、所属をはっきりと告げること。
 - ・レース終了後速やかに配艇所に艇番を返却すること。
ゼッケン付きのライフジャケットを着用し出向き、レース番号、レーン番号、氏

名、所属をはっきりと告げ返却すること。

- 艇番はタオル等で水滴を拭き取り返却すること。

イ 発艇

- 練習水域に向かう際、**発艇1分前から全艇ゴール後まではコースに進入しないこと。**
- フリースタートとし「レディ・セット」と言葉による号令の後、発艇状況になったときに、言葉による「ゴー」とする。
- 当レース3分前に発艇台付近にて選手確認を行う。発艇線の自レーン後ろに集合すること。
- 呼ばれた選手は、パドル又は手を上にあげ整列員にわかりやすいように対応すること。
- 発艇線には、周りの選手に遅れないように進入すること。
- 「セット」の合図で艇及びパドルを静止すること。
- 「レディ」の号令でパドリング準備姿勢に入り、「セット」の合図で艇及びパドルがキャッチの位置で静止されていること。

ウ レース

- レース中は可能な限り自レーンの中央を漕ぐこと。
- 転覆の際は艇やパドル等が隣接するレーンに出ないように注意すること。

エ 決勝

- 全艇がゴールするまで自レーン延長線上で待機する（すぐに回航しない）こと。
- 帰艇は速やかに行うこと。

オ 水路・救助

- 水路審判は陸上から確認を行う（2名）
- **コースブイが設置できないため、コースアウトにより失格は行わない
ただし、故意による妨害・接触行為は失格とする。**
- レース終了後、紅白旗にて決勝へ知らせる
- 救助艇（ゴムボート）を1艇配置する
- 発艇、決勝は転覆したクルーを発見した場合は速やかに救助に伝える。

カ 検艇

- 予選レースは無作為に 3 艇、A・B・C 決勝レースは全艇 レース後に検艇を行う。
- 検艇員に従い速やかに艇を運搬すること。
- 水分を吸収するタオルなどは、検艇の際に取り除く。
- 検艇に際し艇から外れた重り、シート、カボックなどは艇の重量に含めない。
レース前にしっかりと固定するなど対策を施しておくこと。
- レース前に事前検艇を行うことができる。(任意) ※レース検艇が優先

キ 成績表・組合せ表

- 成績表・組合せ表はライフジャケット倉庫前で周知する。
- 成績は場内アナウンスでも知らせる。
- 大会終了後、愛知県カヌー協会ホームページに成績をアップする。
- 予選に出場しなかった選手は、その種目を失格。予選以降、正当な理由なく出場しなかった場合や発艇に遅刻した選手は、以降の種目のすべてを失格にする。

(第 20 条第 4 項)

ク スラローム種目

- 検艇、艇番の設置は不要とする。ただし、レース前後は配艇所にて挨拶を行うこと。
- 艇はアオックとし、平パドル又はウイングパドルを使用すること。
- **スプリント種目予選後、コースを設置する 発艇時刻までコースでの練習を認める**
- 1 艇毎の計測とし、1 レーンから計測する ゴール後速やかに次レーンのスタートを行う

ケ その他

- 艇置き場に限りがあるため、競技終了後は速やかに艇を片付けること。
- ゼッケンは競技終了後、チーム毎に揃っているかを確認し、配艇所に返却する。

コ 競技中における雷の対応について

1 平時の注意

- (1) 発艇、決勝、水路審判は前方視界に注視し、雷雲等を確認した場合は大会本部へ通報する。
- (2) 大会本部は雷レーダーを起動させ、警報音、信号等を確認する。

2 競技の中断

- (1) 下記の状況が見られる場合は放送またはトランシーバーにて中断の連絡を行う。

①雷レーダー（本部設置）の警報がなった時

②雷を確認した時

(2) 中断通告後の対応

①速やかに競技会を中断し、発艇、水路審判は、選手を速やかに避難誘導させる。決勝、水路審判は、応援している生徒・保護者等にも周知し避難を呼びかける。

②大会関係者（選手、審判員、保護者等）を艇庫やテント内に避難させる。

3 競技会の再開決定

(1) 下記の条件がいずれも満たされた時、本部が再開の判断を行う。

①雷レーダー（本部設置）の警報音が確認できない場合（概ね 20 分間）または遠ざかる方向で警報音の確認する場合

②天気予報（気象庁発表のナウキャスト参照）により今後雷雲の接近がないと認められた時

③雷注意報が解除されている時または解除が見込まれる時

(2) 再開決定後の対応

①臨時監督会議の開催（再開発表）

②競技開始は再開発表から 30 分以上は確保する。

4 競技中における雷の対応について

(1) 天候の回復が見込めない場合は競技を中止する。

(2) 順延は行わない

(3) 中止決定後の対応

①臨時監督会議の開催（中止発表）

②成績の算出については、次のとおりとする。

雷等で競技会を中止する場合、成績の算出については、次のとおりとする。

・全ての予選レースを行った種目（決勝レースを行えなかった種目）は予選のタイムを元に 1 位から 5 位までを算出し決勝の結果とする。

予選のない種目（決勝レースを行えなかった種目）、すべての予選レースを行えなかった種目については成績の算出を行わない。

・総成績は既に成立をした種目（決勝レースを行った種目）と予選を元に算出した種目の得点を合し総成績を算出する。

2 競技会運営上の注意

① 式典について

- ・入賞した選手は各チームの列の前方に整列すること。
- ・賞状はマナーとして地面に置かないように心がける。
- ・マスク、帽子を着用し、水筒、タオルを持参、そばに置き適宜水分を摂取すること。

② 更衣室について

- ・男子は仮設更衣室、女子は艇庫内更衣室を使用すること。
艇庫内男子更衣室は女子更衣室に転用する。(荷物を置きっぱなしにはしないこと。)
- ・更衣室の利用は最大3名まで

③ トイレについて

- ・女子は仮設トイレ、男子は艇庫内トイレを使用すること

④ 弁当について

- ・選手の弁当は食中毒の防止のため艇庫内会議室でチーム毎に保管すること。

3 感染症予防対策について

① 来場制限

以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせること

- ・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

② 来場時のお願い

- (1) マスクを持参すること（競技以外はマスク着用）
- (2) 自宅で検温し健康チェックリストを提出すること
(選手は当日、受付で提示し、顧問へ提出すること)
- (3) 他者との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- (5) 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- (6) 乗艇のできる服装で来場する（選手）※更衣室の利用回数を減らすため
- (7) 大声での応援は控えること

③ その他

- ・ライフジャケットは1人1着使用する
- ・艇の乗り継ぎの際は消毒を行う